

経営比較分析表（平成29年度決算）

埼玉県越谷市 越谷市立病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	400床以上～500床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	19	対象	D透訓ガ	救臨輸
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
340,862	32,126	非該当	7:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輸…病院群輪番制病院

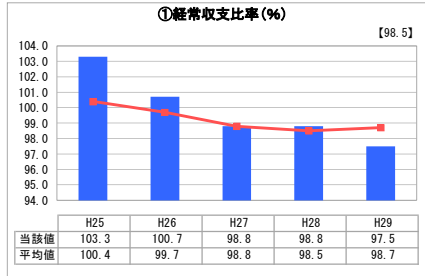
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
481	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	481
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
409	-	409

グラフ凡例

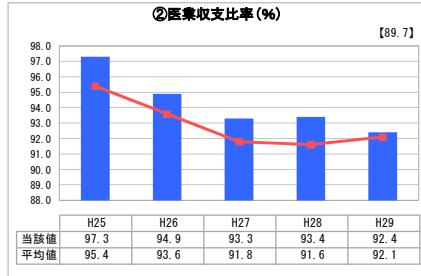
- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）

【】 平成29年度全国平均

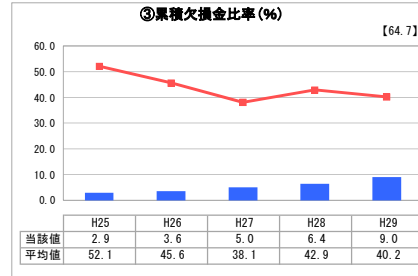
1. 経営の健全性・効率性



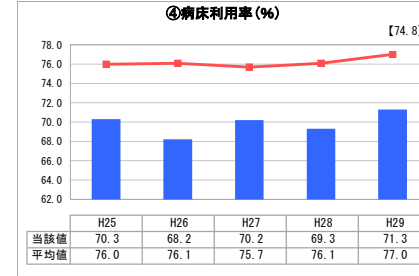
「経常損益」



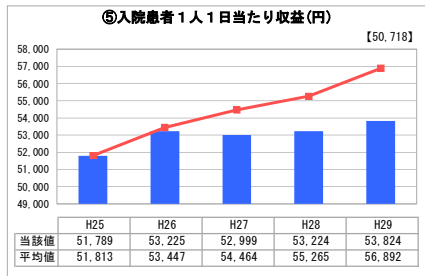
「医業損益」



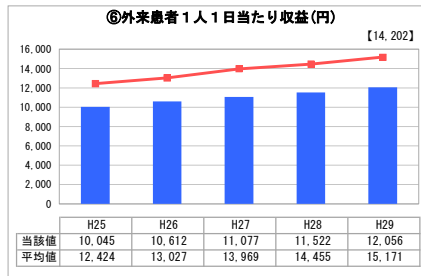
「累積欠損」



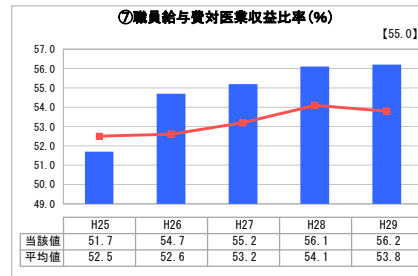
「施設の効率性」



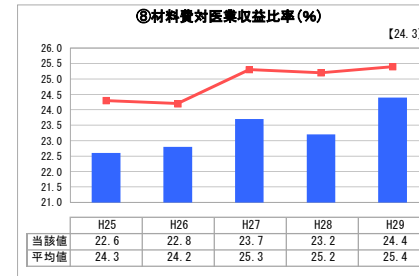
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

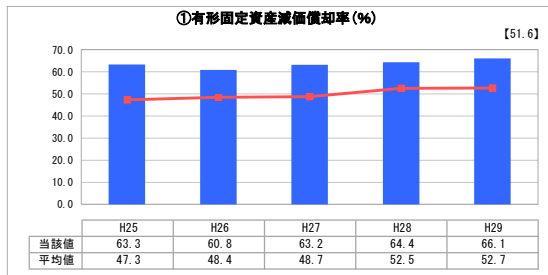


「費用の効率性①」

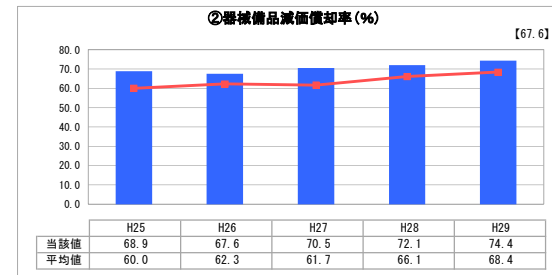


「費用の効率性②」

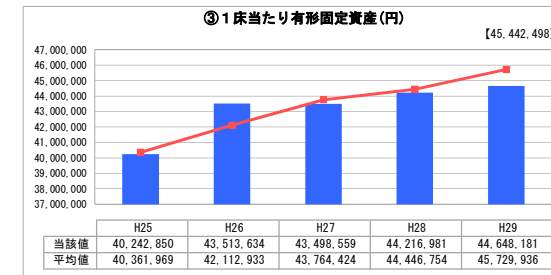
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「器械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

地域の基幹病院として急性期医療の役割を担っており、医療連携・機能分化を図る中で、救急患者や紹介患者をスムーズに受け入れ、後方の連携施設に紹介を行うことで、地域のハブとなる病院を目指す。特に東部医療圏において「救急医療」「がん医療」「小児・周産期医療」を担う役割が大きい。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率
経常収支比率が100%を下回っている。高額な治療薬等の薬品費や手術にかかる診療材料費等の増加や、前年度に計上不足となっていた賞与引当金を繰上計上したことによる給与等の増加が主な要因とされている。経営改善に向け、今年度ICU（新生児特定集中治療室）・GOU（新生児回復回復室）を設置する改修工事を行うなど、周産期医療の一層の充実を図りながら、経常収支比率100%以上の黒字化を目指したい。

④病床利用率
類似病院平均値より低い水準となっている。当院は救急や周産期医療の充実と地域の医療連携・機能分化を強化することで利用率の向上を図りたい。

⑤入院患者1人1日当たりの収益
⑥外来患者1人1日当たりの収益
⑦職員給与費対医業収益比率
⑧材料費対医業収益比率
類似病院平均値より低くなっている。食料の提供や外来窓口業務等については委託せざるに直営により行って、その分は委託料が軽減されている。

2. 老朽化の状況について

①②有形固定資産及び機械備品減価償却率
当院は昭和51年の開院以来、平成5～9年度にかけて、大規模な増築工事や改修工事を行い施設の維持を図ってきた。また、医療器械についても計画的な保守点検や買い替え等を行ってきたところである。しかしながら、経年劣化による老朽化は否めないため、将来的な施設の建替え等の検討が必要であるとされている。

③1床当たり有形固定資産
類似病院平均値より低くなっているが、昨年と比べ上昇している。医療器械や施設設備等の保守を徹底し投資の抑制を図りたい。

全体概括

安定した経営基盤を築くため、第四期中期経営計画に基づき、病棟の再編を検証するとともに累積欠損金の縮減を図る。これを実現させるための「収益確保対策」「費用削減対策」「医療の質の向上・患者サービスの向上」「管理運営体制の強化」の4項目を柱とする各種施策について引き続き取り組む。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。